

平成24年度
(平成24年7月～平成25年6月)

環境活動レポート



平成25年 7月10日

マタケ造景株式会社

組織の概要

(1) 名称及び代表者名

マタケ造景株式会社
代表取締役社長 真武 弘延

(2) 所在地

本 社 福岡県福岡市東区香椎駅東4丁目47-1-301号
TEL : 092-661-6614

FAX : 092-673-1382

資材置場 福岡県福岡市東区下原2丁目地内

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 統括部長 酒井 竜二 TEL : 080-1785-4209
E-mail : sakai.zoukei@dune.ocn.ne.jp

担当者 営業部 青谷 憲一 TEL : 080-2745-7778
E-mail : m_zoukei@cosmos.ocn.ne.jp

(4) 事業内容

建設業：造園工事業他

(5) 事業の規模

売上げ額 平成24年度 226 百万円

	本 社	資材置場
従業員	15名	無人
延べ床面積	60m ²	1,343m ²

(6) 事業年度 7月1日～翌6月30日

(7) 法人設立年月日 平成2年 7月

(8) 資本金 400万円

2. 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： マタケ造景株式会社

活動： 建設業：造園工事業、石工事業、舗装工事業、塗装工事業

水道施設工事業、土木工事業、しゅんせつ工事業

とび・土工工事業、鋼構造物工事業

有資格者数： 1級造園施工管理技士・技能士 3名

2級造園施工管理技士 4名

1級土木施工管理技士 1名

2級土木施工管理技士 4名

環 境 方 針

マタケ造景株式会社は、環境整備（景観作り）の活動を通じて、地球環境との調和・共生を目指し、環境への取組を最重要課題として、全社一丸となって法令遵守のもと環境への取組を推進して環境負荷を継続的に削減する。

1. 事業活動に伴う環境への負荷を削減するために、以下の環境へ取組を行う。
 - (1) 車両、重機、機械類の工事運転に努めて燃料を削減して二酸化炭素排出量を削減する。
 - (2) 事業所の電気の省エネルギーを推進して二酸化炭素排出量を削減する。
 - (3) 事業所及び、資材置き場には、数多くの植栽を行い二酸化炭素排出量の削減を行う。
 - (4) 井戸水の利用や節水により水使用量を削減する。
 - (5) 建設廃棄物の発生抑制・削減・リサイクルを推進して、産業廃棄物の最終処分量を削減する。
 - (6) 事務用品のグリーン購入を推進する。又建設資材の可能な限り再生品を使用する。
 - (7) 化学物質の使用削減に努める。
2. 当社の事業活動において関連する環境関連法規等を遵守する。
3. 環境に配慮した施工を心掛け、地球に優しい緑化型構築物を提案する。
4. 事業所、現場周辺において、清掃美化活動や草花のプランター設置など地域緑化環境活動を積極的に行い、地域の環境保全に貢献する。
5. 森林保全を目的としたエコアップ活動の企画運営を行い、地域との環境コミュニケーションを推進する。

制定 平成23年 5月30日

改訂 平成24年 5月30日

マタケ造景株式会社

代表 取締役 真武 弘延

3. 2 工事現場

環境目標		目 標 実 積	単 位	基 準 値	試行運用期間 H23. 11～H24. 1	平成23年度	平成24年度	平成26年度
1	二酸化炭素排出量の削減	目 標	C02発生量/ 受注額 (百万円)	—	233. 20	233. 20	230. 85	226. 14
		実 積	C02発生量/ 受注額 (百万円)	235. 56	633. 91	296. 29	238. 14	—
2	産業廃棄物のリサイクル率84%の維持・向上	目 標	%	—	84	84	84	85
		実 積	%	84	97. 3	98. 7	98. 3	—
3	農薬の適正管理	目 標	—	工事現場によって、使用量が大きく変動するため、数値目標は立てずに適正に管理する				
		実 積	—					
4	節水	目 標	—	工事現場によって、使用量が大きく変動するため、数値目標は立てずに取り組みは実施する				
		実 積	—					

<備考>

- ・平成23年度試行運用期間の数値目標は、平成22年度実績値の3ヶ月分を推定し、これに削減率を乗じ設定しました。
- ・二酸化炭素排出量は、平成22年度九州電力の実排出係数0.385kg-CO2/kWhで計算している。

環 境 目 標

No.	環境目標	単 位	基準値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
1	二酸化炭素排出量の削減 (平成23年度の実績を基準に1%以上削減する)	C02発生量(kg)	63,893	63,254	62,622	61,995	61,375	60,762
		受注額(百万円)	250					
		C02発生量(kg)/ 受注額(百万円)	256					
		(前年比)		-1.0%	-1.0%	-1.0%	-1.0%	-1.0%
2	一般廃棄物量の削減 (平成23年度の実績を基準に平成28年度までに5%削減)	t (基準年比)	0.373	0.369 -1.0%	0.366 -2.0%	0.362 -3.0%	0.358 -4.0%	0.354 -5.0%
3	総排水量の削減（節水） (現場は、工事によって使用量が大きく変動するため、数値目標は立てずに取り組みは実施する) (平成23年度の実績を基準に平成28年度までに5%削減)	m ³ (基準年比)	35	34.65 -1.0%	34.30 -2.0%	33.95 -3.0%	33.60 -4.0%	33.25 -5.0%
4	グリーン購入 (平成23年度の実績を基準にグリーン購入率50%の維持・向上)	グリーン購入金額/ 購入金額 (基準年比)	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
5	産業廃棄物のリサイクル率95%の維持・向上	% (基準年比)	95	95	95	95	95	95
6	農薬の適正管理（工事現場によって、使用量が大きく変動するため、数値目標は立てずに適正に管理する）							

※二酸化炭素排出量は、平成22年度九州電力の実排出係数0.385kg-CO2／kWhで計算している。

環境活動計画

1. 二酸化炭素排出量の削減

2. 廃棄物排出量（一般廃棄物）の削減

3. 産業廃棄物のリサイクル率の向上

4. 事務所の水使用量の10%削減

5. グリーン購入

6. 農薬の適正管理

7. 事業活動に伴う目標

環境目標の実績

No.	環境目標	単位	基準値	平成24年度 目標値	平成24年度 実績値
1	二酸化炭素排出量の削減	CO2発生量(kg)	63,893	63,254	63,877
		受注額(百万円)	250		226
		CO2発生量(kg)/ 受注額(百万円)	256		283
		(基準年比)		-1.0%	+10.5%
2	一般廃棄物量の削減	t (基準年比)	0.373	0.369 -1.0%	0.383 +2.6%
3	総排水量の削減（節水）	m ³ (基準年比)	35	34.65 -1.0%	38.00 +8.5%
4	グリーン購入	グリーン購入金額 /購入金額 (%) (基準年比)	50.0	50.0	61.0
5	産業廃棄物のリサイクル率95%の維持・向上	% (基準年比)	95	95	98
6	農薬の適正管理（工事現場によって、使用量が大きく変動するため、数値目標は立てずに適正に管理する）		—	—	—

※二酸化炭素排出量は、平成22年度九州電力の実排出係数0.385kg-CO2/kWhで計算している。

環境活動計画及びその取組結果と評価並びに次年度の取組内容

(1) 二酸化炭素排出量の削減

取組対象	達成状況	取組計画	実施状況	評価 (今後の取組方向も含む)
電気使用量の削減	×	・節電シール ・エアコンの設定温度を決定 ・エアコンフィルターの清掃 ・昼休みの消灯運動 ・退出時のOA機器の主電源OFF	○ ○ ○ ○ ○	取組みは実行できているので、今後も引き続き取り組んでいきたい。
燃料使用量削減	×	・エコドライブの推進 ・タイヤの空気圧を適正値に保つようにする。 ・ハイブリットカーの導入の検討	○ ○ ○	全体的に実行されていた。今後もエコドライブの推進を重点的に取組み、燃料使用量の削減に努めていきたい。

(2) 廃棄物排出量（一般廃棄物）の削減

取組対象	達成状況	取組計画	実施状況	評価 (今後の取組方向も含む)
可燃ごみ数量	×	・会議資料・事務手続書類の簡素化を実行する	○	全体的に実施されたので、今後も引き続き取り組んでいく。
不燃ごみ数量	×	・使用済み用紙の裏紙利用の徹底	○	
紙ごみ数量	○	・使用済み封筒の再利用の徹底 ・分別の徹底	○ ○	

(3) 産業廃棄物のリサイクル率の向上

取組対象	達成状況	取組計画	実施状況	評価 (今後の取組方向も含む)
リサイクル率	○	・現場代理人は産業廃棄物管理票の管理を確實に行い、責任者に報告する	○	全体的に実施されたので、今後も引き続き取り組んでいく。
リサイクル量	—	・産業廃棄物の適正処理を確認する	○	
埋め立て量	—			

(4) 総排水量の削減

取組対象	達成状況	取組計画	実施状況	評価 (今後の取組方向も含む)
水使用量の削減 (1.0%)	×	・節水シールの貼り付け ・節水活動の推進	○ ○	全体的に実施されたので、引き続き活動していく。

※水使用量の取組みに関しては半期で行います。

(5) グリーン購入

取組対象	達成状況	取組計画	実施状況	評価 (今後の取組方向も含む)
購入率 50%以上	○	・アスクルへの注文の統一化 ・注文時のリサイクル製品の有無の確認	○ ○	グリーン購入の意識を強く持ち、今後更に割合を増やしていきたい。

(6) 化学物質の削減

取組対象	達成状況	取組計画	実施状況	評価 (今後の取組方向も含む)
農薬の適正管理	—	・工事現場によって、使用量が大きく変動するため、数値目標は立てずに適正に管理する。	○	適正に管理できているので、引き続き適正に管理していく。

(7) 社会貢献活動への参加数

取組対象	達成状況	取組計画	実施状況	評価 (今後の取組方向も含む)
清掃活動・エコアップ活動	○	・月 1 回の清掃活動の実施	○	月の最終土曜日に実施するよう決めて、実行できているので、今後とも継続して活動していきたい。

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動において、法的義務を受ける主な環境関連法規は次のとおりである。

適用される法律規制等	適用される事項（施設・物質・活動等）
廃棄物処理法	事業系一般廃棄物、産業廃棄物（廃プラ、木くず、鉄くず）
騒音規制法	バックホウ
振動規制法	バックホウ

平成25年7月に上記の環境関連法規の平成24年度（平成24年7月～平成25年6月）における遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。

また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

代表者による全体評価と見直しの結果

全体としては、環境方針に基づき、仕組み作りが少しづつ出来ている。地域の清掃活動やリサイクル購入、プラントの設置、エコアップ活動の計画等はすぐ実行でき評価できるので今後とも取り組んでいきます。

二酸化炭素排出量の削減については、エコドライブの研修会を行うなど、もう少し積極的に取り組んでいきたい。

事業所においては分かりやすい標示板等を設置し、仕組み作りが出来ているが、現場では徹底をもう少し進めたい。

目標値に関しては、明確性が細部まで全員に周知できていないので、もう少し説明が必要である。

役割分担に関しては、全員で取り組んでいるのは評価できる。